

授業科目	英語学概論Ⅱ				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21404J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP3-1			
担当教員	大谷 浩							
授業概要	<p>前期の概論Ⅰに続く講義内容。 前期の学習内容を軽く振り返った後に、主として「意味論」について学ぶ。 意味論は「形態論」「統語論」にも関わるだけでなく、極めて抽象度が高い研究分野である。 その分、とりつきにくい面もあるが、わかり始めると強烈に惹き付けられる分野でもある。 「意味論」の他に「社会言語学」「言語政策」についても学ぶ予定であるが、受講生の理解を見ながら、進め具合を調整する。 授業は、なるべく身近な例を紹介しつつ進めていくが、抽象的思考に食いついてく覚悟は必要になる。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>意味論の基本的アプローチである「指示説」「概念説」「構造意味論」を理解し、他者にそれらの概念を具体例を使って、説明できる。 「地域方言」と「社会方言」の違いを具体例を使って説明できる。 英語および言葉というものの全体に対する、深い理解と、それを授かって使っている人間の素晴らしさを実感できる。 英語学習に対する意欲がますます高まる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		0	40		15		55	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10		15	20	45	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
意味論、社会言語学に関して十分理解をし、その分野に対して更に研鑽を積む意欲を持つに至るレベル。				意味論、社会言語学について他者に具体例を挙げながら、大まかな説明ができるレベル。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	意味論について(1) 意味の意味とは何か？をめぐって「指示説」を紹介する。	授業方針の説明、 講義	指定された教科書を購入して 持参すること。	60
2	意味論について(2) 意味の意味とは何か？をめぐって「構造意味論」を紹介する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
3	意味論について(3) 意味の意味とは何か？をめぐって「概念説」を紹介する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
4	意味論について(4) 意味の意味とは何か？をめぐって「指示説」と「概念 説」を比較する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
5	意味論について(5) 意味の意味とは何か？をめぐって「指示説」と「概念 説」の共通点と、その2つの説と「構造主義」との切り 口の違いを説明する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
6	地域方言について説明する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
7	社会方言について説明する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
8	地域方言と社会方言について理解し、言語が果たす 意思疎通の役割を考える。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
9	地域方言と社会方言について理解し、アイデンティテ ィーの源泉としての言葉の役割について考える。	小テスト、講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
10	言語政策について 英国・米国において、主として英語がどのように政策 上位置づけられているかを理解する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
11	言語政策について カナダ・オーストラリア・ニュージーランドにおいて、主 として英語がどのように政策上位置づけられているか を理解する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
12	第2言語習得について、その研究内容を概観する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
13	第2言語習得が、どのように外国語としての英語教育 の理論的背景を支えているか理解する。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
14	意味論について、日常での用例を取り混ぜながら復 習。	講義	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
15	総括 意味論、社会言語学、言語政策、第2言語習得につ いての総復習。	議論	指定された教科書の章や、資 料を事前に読んでおくこと。	60
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英語や日本語はもちろん、言葉というものに興味関心を持つ姿勢。 アカデミックな内容を聞いて、話された内容を正しく理解できる力。 自らの考えを論理的にまとめ、他者にわかるように伝える口頭及び筆記能力。			
テキスト	「はじめての英語学」 研究社 ISBN 978-4-327-40165-8			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	以下、図書館で指定図書として閲覧・貸出可能です： ○ことばと文化：岩波新書（鈴木孝夫） ○本当にわかる言語学：フシギなくらい見えてくる！ ○言語学入門：これから始める人のための入門書 ○明解言語学辞典 ○言語学が好きになる本 ○First steps in English linguistics 2 版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	英語、日本語を問わず、言葉に関心を持ってください。 テレビで使われる言葉、街中に溢れる文字、自分と異なる年齢層が使う言葉、聞いたり見たりして惹かれる言葉、不愉快になる言葉、文字の成り立ち、発音などなど、身の回りの言葉について意識を高め、気になったことはすぐに自分なりに調べてみる習慣を付けて下さい。			
達成度評価に関するコメント	遅刻2回で欠席1回とする。 20分以上の遅刻は欠席扱いとする。 「その他」は授業中の貢献度とする。 ノートをしっかり取り、リアクションペーパーはなるべく多く書く。			